

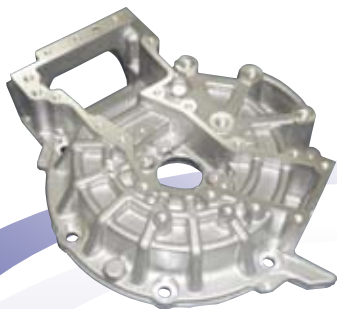
RYOBI

株主のみなさまへ

第100期中間報告書

2011年4月1日～2011年9月30日

DIE CASTINGS



PRINTING EQUIPMENT



POWER TOOLS



BUILDERS' HARDWARE

ダイカスト事業

リョービは世界トップクラスのダイカストメーカー。シリンダーブロックやトランスミッションケースなどの自動車部品をはじめ、さまざまな産業分野にダイカスト製品を提供しています。

■主なダイカスト製品

- ・ シリンダーブロック、トランスミッションケース、車体フレームなどの自動車・二輪車用部品



ダイカスト製品

印刷機器事業

カタログ、ポスター、雑誌や美術書など、美しい印刷物をスピーディーに仕上げる高精度、多機能のオフセット印刷機。リョービはデータ入稿から印刷、製本まで、ハード・ソフト両面から印刷をトータルに支えています。

■主な商品

- ・ 高速オフセット多色印刷機
- ・ 印刷周辺機器等



B1サイズ高速オフセット多色印刷機「RYOBI 1050シリーズ」

あなたの暮らしの中で役立っています

住建機器事業

この事業はパワーツールと建築用品で構成しています。

パワーツール

本格的な住まいづくりからホビーまで、世界中のプロ・アマチュアに愛用されているリョービの電動工具。美しい庭づくりのための園芸用機器など、リョービは多彩なパワーツールで、「創造するよろこび」をお手伝いしています。

■主な商品

- ・ ドリル、丸ノコ、グラインダ、芝刈機、刈払機、高圧洗浄機、クリーナーなど



電子丸ノコ「W-760ED」

建築用品

ドアを静かに確実に閉めるドアクローザ。ホテルなどの室温を快適に調節する空調制御システム。リョービは安全で快適な住まいやオフィスを実現する建築用品を提供しています。

■主な商品

- ・ ドアクローザ
- ・ ヒンジ
- ・ 建築金物等



ドアクローザ「GEOPRO GD-4V」

ごあいさつ

技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第100期（2012年3月期）中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

リョービグループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念とし、その具現化を進めております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることをめざしております。

リョービグループは環境保全、社会貢献活動、コンプライアンスなどさまざまなCSR活動を行っております。こうした活動を強化し、CSR経営の充実に努めてまいります。

当社は収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた配当を継続することを基本としております。当期（第100期）の配当につきましては、1株当たりの年間配当金6円を予定しておりますが、中間配当は行わず期末配当としてまとめて行う予定です。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

2011年11月

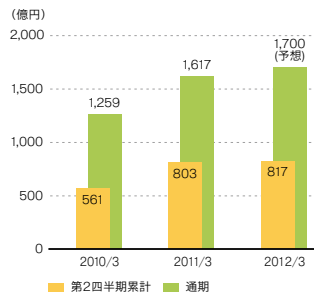


代表取締役社長

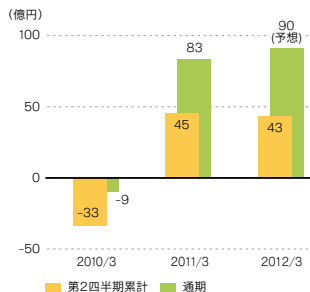
浦上 彰

第2四半期連結決算の要点解説

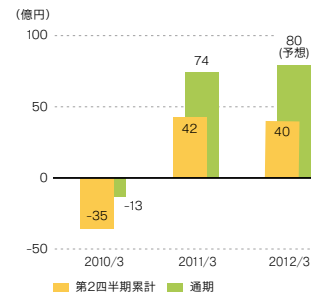
売上高



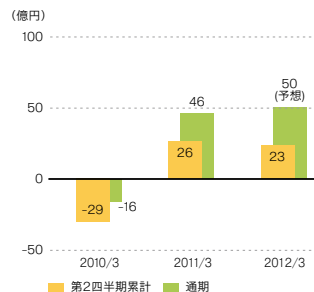
営業利益



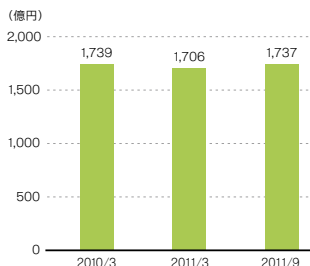
経常利益



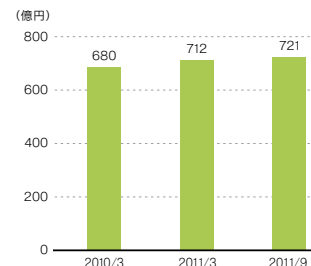
当期純利益



総資産



純資産



業績推移

科目	第2四半期累計			通期		
	2009/9	2010/9	2011/9	2010/3	2011/3	2012/3(予想)
売上高 (百万円)	56,092	80,340	81,705	125,940	161,730	170,000
営業利益 (百万円)	△ 3,313	4,543	4,315	△ 925	8,285	9,000
経常利益 (百万円)	△ 3,511	4,170	3,993	△ 1,312	7,438	8,000
当期純利益 (百万円)	△ 2,862	2,630	2,309	△ 1,601	4,594	5,000
1株当たり当期純利益 (円)	△ 17.70	16.26	14.28	△ 9.90	28.40	30.91
総資産 (百万円)	171,417	174,994	173,689	173,916	170,577	—
純資産 (百万円)	66,776	69,498	72,084	67,995	71,217	—
1株当たり純資産 (円)	407.66	423.81	439.98	414.86	434.18	—

△は損失

売上高・利益の状況

当第2四半期累計期間（2011年4月1日から同年9月30日まで）のわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況の中、サプライチェーンの復旧に伴い生産活動の回復が進み、輸出や個人消費などにも持ち直しの動きが続きました。しかし一方で、急激な円高の進行・長期化、電力供給の制約や原子力災害の影響、雇用情勢の悪化、デフレの影響など懸念材料が多く、また、欧州の債務問題や米国景気の減速、中国などの新興国のインフレ圧力などもあり、先行き不透明感が急速に広がりました。

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動、原価低減や生産性向上、業務の効率化など諸施策を実行しました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、前年同期に比べると増収となりましたが、経費の増加などの影響で減益となりました。売上高は817億5百万円（前年同期比1.7%増加）、営業利益は43億15百万円（同5.0%減少）、経常利益は39億93百万円（同4.3%減少）、四半期純利益は23億9百万円（同12.2%減少）でした。

資産・負債等の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前期末に比べ31億11百万円増加し、1,736億89百万円となりました。増加は主に売上債権20億38百万円、たな卸資産14億22百万円、有形固定資産36億57百万円等の増加によるものです。その一方で、減少は現金及び預金11億77百万円、有価証券22億49百万円等がありました。

負債は、前期末に比べ22億44百万円増加し、1,016億5百万円となりました。増加は主に仕入債務17億53百万円、長・短期借入金25億88百万円等の増加によるものです。一方、減少は未払法人税等10億59百万円等があり

ました。受取手形割引高及びリース債務を除いた有利子負債残高は、509億90百万円となりました。

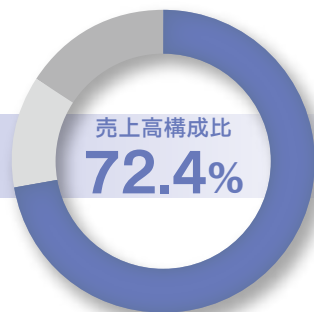
純資産は、前期末に比べ8億66百万円増加し、720億84百万円となりました。増加は主に利益剰余金13億39百万円によるものです。一方、減少はその他有価証券評価差額金4億44百万円等がありました。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は、前期末に比べ9億36百万円増加し、711億64百万円となりました。自己資本比率は、前期末に比べ0.2ポイント減少し、41.0%となりました。

通期の見通し

通期（2011年4月1日から2012年3月31日まで）の業績は、前期に比べて増収、増益となる見通しです。売上高は1,700億円（前期比5.1%増加）、営業利益は90億円（同

8.6%増加）、経常利益は80億円（同7.5%増加）、当期純利益は50億円（同8.8%増加）を見込んでいます。

ダイカスト事業



■ 当第2四半期（累計）の業績

売上高は591億44百万円（前年同期比1.5%増加）、営業利益は32億63百万円（同17.0%減少）となり、前年同期に比べて増収、減益となりました。

北米や中国など海外での受注量は増加したものの、主力の国内自動車メーカーからの受注量が減少したことから収益性が低下し、減益となりました。

■ 当社ダイカスト製品の採用例



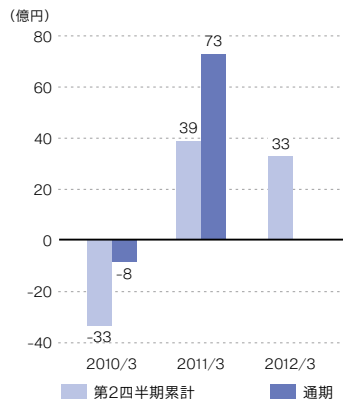
モーターカバー
（日産自動車株式会社様の「リーフ」へ搭載）



売上高



営業利益



「国際鋳造機材・技術展 GIFA」に出展

世界最大規模の鋳造機材・技術展「12th International Foundry Trade Fair with WFO Technical Forum」（通称GIFA）が、ドイツのデュッセルドルフで2011年6月28日から7月2日まで開催されました。

Global Network & Next Generationをコンセプトに、リョービのグローバルな生産体制や今話題の電気自動車・ハイブリッド自動車への取り組みについて紹介しました。

展示会には52カ国から1,958社の出展があり、83カ国から約79,000人が来場しました。



印刷機器事業

売上高構成比

11.8%

■ 当第2四半期（累計）の業績

売上高は96億44百万円（前年同期比3.1%減少）、営業損失は4億29百万円（前年同期は5億47百万円の損失）となり、前年同期に比べて減収でしたが、損失は縮小しました。

急激な円高の影響や長引く印刷業界の不振、設備投資の抑制など当事業を取り巻く環境は依然として厳しいことから、売上高は減少しましたが、原価低減や経費削減の効果などにより収益性は改善しました。

「IGAS 2011」に出展

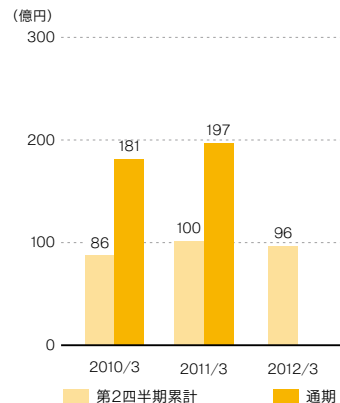
世界4大印刷機材展の一つである「IGAS 2011」が東京ビッグサイトで2011年9月16日から9月21日まで開催されました。

当社は環境にやさしいLED-UV印刷システムを搭載した両面兼用8色オフセット印刷機「RYOBI 928P」を出品し、両面のUV速乾印刷をPRしました。また、UVキャストインク・フォイルリングシステム付の高速オフセット多色印刷機「RYOBI 1050-1」の展示では、ホログラムと箔押しのデモンストラーションを行いました。

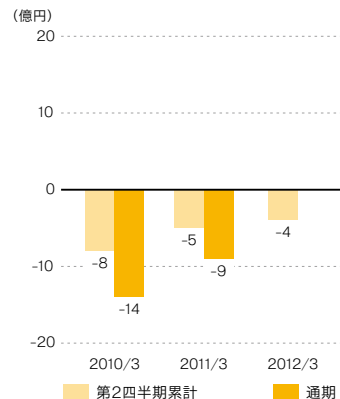
ブースへは連日大勢のお客様が来場され、当社の最新技術を披露することができました。



売上高



営業利益



住建機器事業

売上高構成比
15.8%

■ 当第2四半期(累計)の業績

売上高は129億15百万円(前年同期比6.8%増加)、営業利益は14億81百万円(同27.8%増加)となり、前年同期に比べて増収、増益となりました。

震災の影響や厳しい販売競争が続いているものの、住宅着工戸数や個人消費などが概ね持ち直したことから、国内販売、輸出とも増加し、原価低減や経費削減の効果などもあり増益となりました。

「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2011」に出展

2011年8月25日から8月27日まで「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2011」が千葉県の幕張メッセで開催され、当社は一般ユーザー向けの電動工具、ガーデン機器、清掃機器を展示しました。新商品の高圧洗浄機「AJP-1700VGQ」の展示では、お客様に操作を体験していただき、性能をアピールしました。

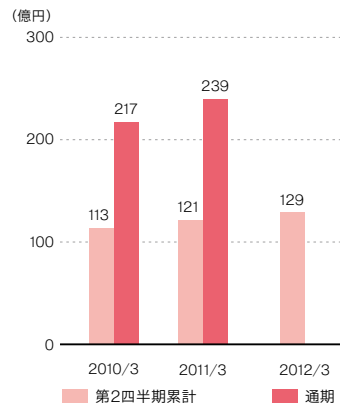


「ecobuild 2011」に出展

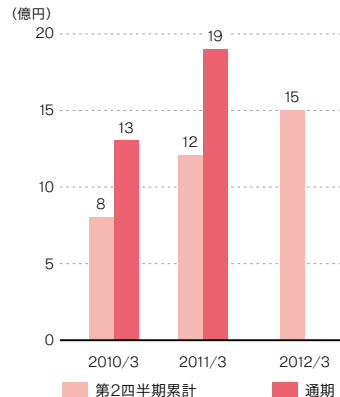
「第24回世界建築会議」の併設展として、「第10回 すまい・建築・都市の環境展 ecobuild (エコビルド) 2011」が9月26日から9月28日まで、東京国際フォーラムで開催されました。当社は、ドアクローザ「GEOPRO (ジオプロ)」や引戸クローザを展示しました。



売上高



営業利益



特集

増える高圧洗浄機ユーザー

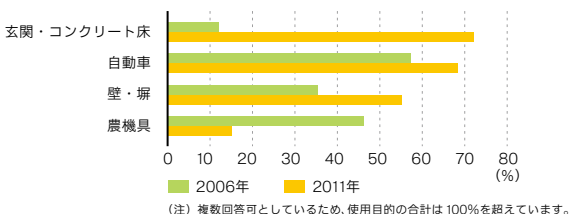
近年、家庭用の高圧洗浄機が身近な清掃機器として認知され、利用者が増えています。他社も含めた国内の販売台数は、3年前に比べて約2倍に増えています。(当社調べ)

当社の高圧洗浄機の販売台数も順調に伸びており、今後も拡大が期待できる市場であるため、新商品の開発と販売の強化に注力しています。

家の外回りで活躍

当社の調査では、5年前の使用目的は自動車や農機具の洗浄が中心でしたが、今は玄関・コンクリート床、壁・塀など、家の外回りで多く使われ、ユーザー層が広がっています。

高圧洗浄機の使用目的 (当社調べ)



集合住宅にも拡大

高圧洗浄機は戸建住宅で使うものと思われがちですが、近年はマンションなどの集合住宅でもユーザーが増えています。当社の調査では購入者の15%が集合住宅の入居者です。

使いやすさを追求した新商品「AJP-1700VGQ」

point1 圧力調整機能

モーターを電子制御してポンプの吐出圧力を調整できます。



point2 自吸機能

雨水などの溜め水を吸い上げることができます。



point3 便利な収納機能

ホースもガンも楽に収納



電源コードもスッキリ収納



ハンドルをたたんでコンパクト収納

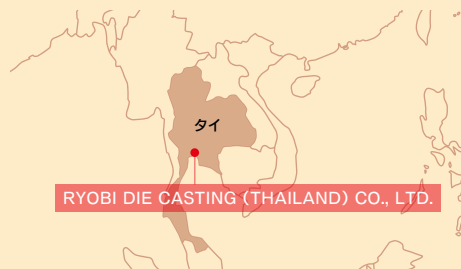


※リョービホームページで詳しく紹介しています。
<http://www.ryobi-group.co.jp/>

タイにダイカストの営業拠点を設立

タイのバンコクへダイカストの営業拠点となるRYOBI DIE CASTING (THAILAND) CO., LTD.を設立しました。概要は次のとおりです。

- ・ 設 立 2011年5月
- ・ 資 本 金 18.5百万バーツ (約50百万円)
- ・ 事 業 内 容 ダイカスト製品の仕入・販売



リョービ環境保全委員会の社会貢献活動

当社の本社近辺の事業所では、1991年から社員が自宅などからアルミ缶を持ち寄り、アルミ再生業者に販売し、その収益金をNPO法人リョービ社会貢献基金へ寄付しています。2011年9月末で、回収したアルミ缶の総個数は1,383万個、総重量は230トンになりました。

また、各事業所の周辺の清掃活動も定期的に行っており、本社の近くを流れる芦田川では、「芦田川クリーン作戦」と称して土手や河川敷の清掃を、家族も加わり楽しみながら行っています。



アルミ缶回収



芦田川クリーン作戦

NPO法人リョービ社会貢献基金の活動

リョービ社会貢献基金は、リョービグループの拠点がある地域の社会福祉施設などへの物品寄贈や、ボランティア団体に対する活動資金の助成などを行っています。

2011年4月にはボランティアの9団体に対して計90万円の助成金を贈呈しました。ボランティア団体への活動資金の助成は2006年から行っており、今回で6回目になりました。



助成金贈呈式

第2四半期連結財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部

科目	当第2四半期末 (2011年9月30日)	前期末 (2011年3月31日)
流動資産	89,784	89,610
現金及び預金	13,371	14,548
受取手形及び売掛金	36,271	34,232
有価証券	6,762	9,012
たな卸資産	28,565	27,142
その他	4,864	4,712
貸倒引当金	△ 50	△ 37
固定資産	83,904	80,966
有形固定資産	71,581	67,923
建物及び構築物	18,102	18,474
機械装置及び運搬具	22,314	21,190
土地	21,640	21,628
建設仮勘定	5,948	3,330
その他	3,575	3,300
無形固定資産	944	992
投資その他の資産	11,378	12,050
投資有価証券	7,461	8,358
その他	4,028	3,768
貸倒引当金	△ 111	△ 76
資産合計	173,689	170,577

負債の部

科目	当第2四半期末 (2011年9月30日)	前期末 (2011年3月31日)
流動負債	73,541	76,480
支払手形及び買掛金	30,110	28,357
短期借入金	25,785	25,404
1年内返済予定の長期借入金	6,681	10,118
未払法人税等	1,105	2,165
賞与引当金	1,585	1,613
役員賞与引当金	—	20
その他	8,272	8,800
固定負債	28,063	22,879
長期借入金	18,523	12,878
退職給付引当金	6,282	6,633
その他	3,257	3,367
負債合計	101,605	99,360

純資産の部

株主資本	80,802	79,463
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	40,940	39,601
自己株式	△ 2,360	△ 2,360
その他の包括利益累計額	△ 9,637	△ 9,235
その他有価証券評価差額金	1,427	1,871
繰延ヘッジ損益	△ 48	△ 32
土地再評価差額金	626	626
為替換算調整勘定	△ 11,642	△ 11,700
少数株主持分	919	989
純資産合計	72,084	71,217
負債純資産合計	173,689	170,577

損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
売上高	81,705	80,340
売上原価	66,843	65,607
売上総利益	14,861	14,732
販売費及び一般管理費	10,546	10,189
営業利益	4,315	4,543
営業外収益	596	713
営業外費用	918	1,085
支払利息	468	560
その他	450	525
経常利益	3,993	4,170
特別利益	24	205
固定資産処分益	23	186
その他	0	18
特別損失	362	327
固定資産処分損	35	99
投資有価証券評価損	148	198
その他	178	29
税金等調整前四半期純利益	3,655	4,048
法人税等	1,387	1,352
少数株主利益・損失(△)	△ 41	66
四半期純利益	2,309	2,630

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,056	9,253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,925	△ 3,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,465	△ 6,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△ 70
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,397	△ 468
現金及び現金同等物の期首残高	21,485	23,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,088	22,851

財務諸表 ワンポイント解説

売上高と営業利益

売上高は817億5百万円と前年同期に比べ13億64百万円増加しましたが、営業利益は43億15百万円と前年同期に比べ2億27百万円減少しました。

主力のダイカスト事業において、海外での売上高は増加したものの国内の売上高が東日本大震災の影響で減少したため、全体としての収益性が低下したことが主たる要因です。

キャッシュ・フローと有利子負債

投資活動によるキャッシュ・フローが89億25百万円の支出となり、前年同期に比べ54億45百万円の支出増加となりました。中国への設備投資の増加が中心であり、この資金需要をまかなうために、当第2四半期末の有利子負債は509億90百万円と前期末に比べて25億88百万円増加しています。

株式の概要

- 発行可能株式総数 500,000 千株
- 発行済株式の総数 171,230 千株
- 自己株式保有数 9,484 千株
- 株主数 10,503 名
- 株式の上場 東京証券取引所

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社 (信託口)	15,844	9.79
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.74
第一生命保険株式会社	8,067	4.98
日本生命保険相互会社	7,823	4.83
菱工会持株会	7,162	4.42
財団法人浦上奨学会	5,530	3.41
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,218	3.22
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社 (信託口)	4,186	2.58
住友信託銀行株式会社	3,503	2.16
ノーザン トラスト カンパニー エイ ブイエフシー リ ノーザン トラスト ガンジー アイリツシユ クライアantz	3,379	2.08

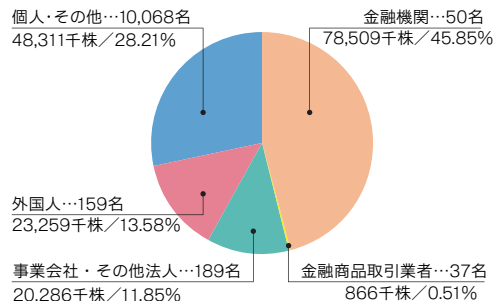
(注) 当社は、自己株式9,484千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

配当金 (1株当たり)

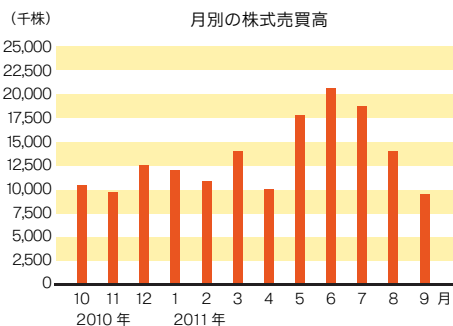
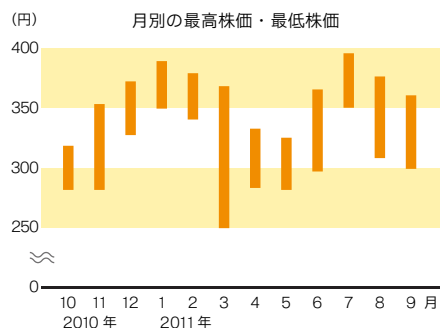
	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
中間配当金	6円	6円	—	—	—
期末配当金	6円	—	—	6円	6円(予想)
年間配当金	12円	6円	—	6円	6円(予想)

株式分布状況

<所有者別>合計 10,503 名 / 171,230 千株



株価及び株式売買高の推移



「くらしごこち」がテーマです。



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主
確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主
確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel. 0120-094-777 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 5851
- 公告の方法 電子公告「<http://www.ryobi-group.co.jp/>」

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承りますので、お手続きが必要な際は口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左の連絡先または全国の三菱UFJ信託銀行本支店にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

RYOBI リョービ株式会社

本 社 〒726-8628 広島県府中市目崎町 762
Tel. (0847) 41-1111

東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島 5-2-8
Tel. (03) 3927-5541

<http://www.ryobi-group.co.jp/>

この報告書はリョービの印刷機で印刷しています。
無断複製・転載等を禁止します。